



# 畜業方面

## 廿年働き通し 産み続け

多産長壽の記録を作つて役牛、飼主は新潟縣刈羽郡南郷石村の石會根字小清水農佐藤福郎さん同家の牛は現在廿歳(牛は普通十二、三才と云はれるので人間なら八十歳以上になるので人間なら八十歳以上になるので人間なら八十歳以上になるので人間なら八十歳以上になる)の牛が今もつて發情し今年五月十三日牡犢を産んだが都合十四頭(牝八頭、牡六頭)を産んで飼育者の佐藤さんが手に入れてから十七年たゞ一回休んだ丈で毎年受胎、しかもなほ元氣で労働力も若い牛に負けぬと云ふから頑強な牛だ、種類は北鱈牛で郡制廢止前の大正十二年春新潟縣が第一回の鮮牛共同購入の折百廿五頭で買つたもの、當時三才で既に妊娠、初産に牡犢をあけてから交互に牡と牝を産み最近四年は牝ばかり續けて産んだが今年も牡なそうだ、佐藤さんは牝犢を四十頭から六十頭、牡犢を十八頭から廿五頭で賣つたと云ふから續けだけでも五百圓の不勞所得がまつたわけ、同家はこの牛をマスコットとし一生飼殺して死んだら學術研究に提供その後供養塔を建て、やると云つてゐる、右について農林省の畜産課では、廿才も生きてゐる牛は関西地方の先進地では時々あることだが比較的遅れてゐる北陸や關東地方としては珍らしい、それに十四頭の仔を産んだことも面白いこと、結局飼養管理さへよければ相當利用出来ることが判

る、學問的に見て我が國の牛の高齡の最高記録が何ぞになつてゐるか云ふことは文献がなく不明でまた一牝牛からの産牛數もはつきりわかつてゐない(終)

皇軍戰勝ニ冬品會の第一線に立つ

ツルヤ 電話一四〇

豐富陳列 漸新型

子供帽子 中折帽子

お醤油は ヤマフル

醬油 味噌 調味料 節約食品

山崎合名會社

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

電話 一六二七〇

平病院 (平市元共濟病院跡) 電話六四一

院長 醫學博士 鈴木定藏

内科 部長 鈴木定藏

小兒科 部長 佐藤幾要司

皮膚泌尿科 部長 高橋俊幸

物理療法科 部長 鈴木定藏

藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで 夜間診療に従事す(急患は此の際にあらす)

安田系統の帝國海上

帝國海上火災保險株式會社

平代理店 關内正一

平町二丁目 電話一六二七

事務取扱者 阿部助次郎

産科 院長 木村寅次郎

婦人科 醫學博士 内木宗八

外科 藥劑師 大岩俊雄

平市新川町九一

入院隨意 病室完備

木村病院 電話一六四

平田町(三丁目裏川岸通)

明雲堂眼科醫院

入院應需(自炊の便あり)

電話六六九番

藤沼醫院

平市紺屋町 電話五〇七

ス・エイ・ン G.H.N 元話

ゴルフポートワイン

電話一〇二〇

婦人の方には少し水を加へて 召し上ると風味一そう佳良です

(平2) 西村屋藥舖 (電3)

諸毒下しの大妙藥

安流丸

持約 山野邊藥局

平町五丁目

新時代の要求

平看護婦會

平市南町 電話三〇七

御手不足の御家庭 軽い御病人の付添 妊婦産婦の御家庭

根本産婦人科醫院

平市南町

根本莊次郎 根本貞雄

電話三四番

(入院隨時)

一級印刷物も御引受致します

新しいわき新聞社

和洋銅鐵、金物問屋

債券 公債 兩替 金融

多田井質店

平市大工町 電話五九一

店商屋釜

九九・九電

大河内

平市搔搔小路

整形科醫院

電話五八八番